

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：4/30～5/4

・4/30(月)

米朝首脳会談に向けた動き、両陛下退位まで1年心を寄せた「障がい者支援」、拉致被害者米朝会談前にアメリカへ、カブールで自爆テロ、安倍首相 UAE 皇太子と会談などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いました。特に問題は見られませんでした。

・5/1(火)

米朝首脳会談に“板門店”検討、安倍首相米朝会談に期待感、【シリーズ憲法①】総裁選の争点に“憲法改正”、“徴用工像設置”めぐり衝突、などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、憲法改正についての報道で放送法第四条に抵触する疑いのある部分が見られました。また、徴用工像設置については検証者の所感を記しました。

・5/2(水)

加計学園問題、【シリーズ憲法②】公務員のあり方、米朝会談日程、森友学園問題、安倍首相がイスラエル首相と会談などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、公務員のあり方については他の放送日と総合しての評価が必要なものでした。

・5/3(木)

【シリーズ憲法③】海上護衛艦いずも空母化と憲法9条、南北合同チーム、中国の王毅外相が金党委員長と会談、加計学園問題、アメリカ空軍輸送機墜落などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、いずも空母化と憲法9条については放送法第四条の点から問題のあるシーンと印象操作の疑いのあるシーンが見られました。またこの問題については検証者の所感を記しました。

・5/4(金)

卓球で南北合同チーム、米朝首脳会談に向けて、田中角栄氏生誕100年などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、卓球で南北合同チームについては放送法第四条の見地からはやや不十分な点がありました。また、米朝首脳会談に向けてと田中角栄氏生誕100年については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送日： 2018 年 4 月 30 日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙 ※皆川玲奈キャスターは愛媛県今治警察署から中継 ※牧嶋博子(TBS 報道局解説室長、宮内庁担当) ※高橋尚子(スポーツ担当)</p>		
<p>検証テーマ：米朝首脳会談に向けた動き、両陛下退位まで 1 年心を寄せた「障がい者支援」、 拉致被害者米朝会談前にアメリカへ、カブールで自爆テロ、安倍首相 UAE 皇太子と会談</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱走受刑者逮捕 ・米朝首脳会談に向けた動き ・両陛下退位まで 1 年心を寄せた「障がい者支援」 ・大阪市で 2 歳娘を 5 階から落とし殺害 ・拉致被害者米朝会談前にアメリカへ ・カブールで自爆テロ ・スポーツ報道 ・23TODAY <p>脱走受刑者「泳いで渡った」 米朝首脳会談 5 月中に会談も 米朝首脳会談でトランプ氏“板門店”で開催検討 安倍首相 UAE 皇太子と会談 防衛や教育などで協力 東京昭島市で公園に迷い亀</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米朝首脳会談に向けた動き→結論：問題なし <p>今回の報道は米朝首脳会談に向けた動きに関する財務省の対応についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 263 秒であった。</p> <p>先週行われた韓国ムンジェイン大統領との首脳会談ではその融和的な姿勢が好意的にも受け止められた。北朝鮮の金正恩党委員長が次に待ち受けているのはトランプ大統領との首脳会談である。トランプ大統領は「早ければ米朝首脳会談は 3~4 週間以内に行われると思う」と 5 月中にも開催される可能性を示唆した。</p> <p>外交面では元 CIA 長官のポンペオ国務長官がキーパーソンである。およそ 1 カ月前北朝鮮を極秘で訪れ金正恩党委員長と直接会談した。その際金正恩氏は非核化に向けて協議し、工程表を作成することに前向きだったとのことである。</p> <p>安全保障のキーマンとなるのが強硬派のボルトン大統領補佐官です 29 日トランプ政権のスタンスをこう説明した。米朝会談で北朝鮮に求められているのは非核化を決めたことを示す証拠だ。我々が年頭に置いているのは”リビア方式”と述べた。</p> <p>スタジオでは、このリビア方式に関する解説があった。星キャスターは「リビアで非核化が行われた際に行わ</p>		

れた方式なんですけども、まず、核放棄を宣言して国際社会の査察を受け入れる。そして、アメリカが確認してですね、アメリカが経済制裁を解除してアメリカとリビアが国交を正常化するというやり方ですよ。おそらくこのままのリビア方式を北朝鮮が受け入れるということはないと思うんですよ。核を手放せば体制の保証ができるとは限りませんので、北朝鮮からするとサラミ方式と呼ばれているサラミのように小さく薄く切ってですね、小さく譲歩して相手から見返りを引き出すということなのでそういう意味ではリビア方式を主張するアメリカとサラミ方式でしのぎたい北朝鮮とのせめぎあいが始まっているということですね。」と述べた。

このトピックについて放送法上の問題は特に見られなかった。

- ・両陛下退位まで1年心を寄せた「障がい者支援」→結論：問題なし

今回の報道は両陛下退位まで1年心を寄せた「障がい者支援」についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は377秒であった。

4月30日で天皇陛下は退位まで1年となった。これまで慰霊の旅や被災地のご訪問が注目されてきた両陛下のご活動は他にもあり、両陛下が心を寄せ続けられてこられた人たちを取材した。

燦然と輝く天皇杯、皇后杯を福岡で行われる飯塚国際車いすテニス大会の優勝者に送られることになった。先月両陛下は車いすテニスや車いすバスケットなど4つの障がい者スポーツの大会にはじめて天皇杯・皇后杯を授与されることを決められた。

1964年東京オリンピックの後に初めて開かれたパラリンピックでは、名誉総裁を務めた陛下の強い希望もあり、翌年から全国身体障がい者スポーツ大会が毎年開催されることになった。天皇陛下（当時皇太子）は「我が国ではなお不十分といわれる障がい者に対する理解を深め 関心を強めるのに良い機会と思います。」と述べられた。

おふたりがずっと心を寄せられているのは障がい者スポーツだけに留まるものではない。2005年、皇后さまが和波さんらに本の印税の寄付をもとに、ボランティアで作られた点字楽譜を共有する仕組みが作られ視覚障がい者が音楽に親しみやすくなった。

和波孝禧さん（73）は「我々が障がい者として生きていくということを考えた時にね皇室の方が我々にいつも心を向けていてくださることが救いである。」と話した。

障がいのある人たちに心を寄せ続ける両陛下の思いは即位後10年の記者会見に凝縮されています。皇后陛下は、「行政に求められるものに比べより精神的な支援としての献身が求められているよに感じます」と述べられ、天皇陛下「障がい者や高齢者 災害を受けた人々に心を寄せていくことは私どもの大切な努めであると思います。」と述べられた。

スタジオでは、雨宮キャスターが「皇室を取材しているTBS報道局牧嶋博子解説室長は、両陛下にとって障がい者支援というのは大変重要な意味をもっていたんですね」と聞くと、牧嶋解説室長は「そうですね。象徴としての重要な役割としての一つという位置づけですね。おふたり昭和の時代からこつこと本当に皇后さまと二人三脚で障がい者の支援を続けていらっしました。」と答えた。また、雨宮キャスターが「今後のお仕事はどなたが引き継いでいくことになるんでしょうか？」と聞くと、牧嶋解説室長は「障がい者スポーツ大会のご出席はすでに後退しご夫妻に譲られています。基本的には今の陛下の公務は新しい天皇に引き継がれます。」と答えた。星キャスターは「宮内庁の関係者に聞いてみますと、象徴のあるべき姿をずっと考えてこられているんですね。」

国事行為をこなすというだけではなくて、国民を励ますのが象徴の務めだろうという位置づけなんですよね。ですから、慰霊の旅であるとか被災地の訪問、障がい者に寄り添うということもその一つと考えているんだと思うんですよね。そういう意味では平成スタイルというべき皇室のあり方を確立されたと思うんですよね。」と述べた。

このトピックについて、放送法上の問題は特に見られなかった。

・拉致被害者米朝会談前にアメリカへ→結論：問題なし

今回の報道は「拉致被害者米朝会談前にアメリカへ」に関する財務省の対応についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 26 秒であった。

拉致被害者横田めぐみの弟拓也さんと救う会などが米朝首脳会談における拉致問題解決への協力を要請するためワシントンに向かった。3 日にはニューヨーク国連本部でシンポジウムを開き、拉致被害者の救出を訴える予定である。横田拓也さんは「具体的な被害者を帰すということがないかぎりではそれまでは楽観的な評価をすることはできない」と話した。

このトピックについて、放送法上の問題は特に見られなかった。

・カブールで自爆テロ→結論：問題なし

今回の報道はカブールで自爆テロに関する財務省の対応についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 23 秒であった。

アフガニスタンの首都カブール中心部で 30 日自爆テロ相次ぎ、少なくとも 25 人が死亡した。自爆テロの様子を取材しようと記者らが集まったところ報道関係者を装った男がやってきて自爆テロを起こした。AP 通信によれば、過激派組織「イスラム国」系のグループが犯行声明をだしたとのことである。

このトピックについては、放送法上の問題は特に見られなかった。

・安倍首相 UAE 皇太子と会談

中東諸国を訪問中の安倍総理が UAE アラブ首長国連邦でムハンマド皇太子と会談し、石油依存からの脱却を進める UAE と防衛や教育などの幅広い分野で協力を推進することを確認したこと、日本企業が保有する海上油田の権益が延長されたことに謝意を示したことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は 21 秒で、放送法上の問題は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

今回の放送では、客観的な事実の報道とその解説が主であって、特に問題は見当たらなかった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年5月1日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：米朝首脳会談に“板門店”検討、安倍首相米朝会談に期待感、 【シリーズ憲法①】 総裁選の争点に“憲法改正”、“徴用工像設置”めぐり衝突も</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・USJ コースター緊急停止 ・脱走受刑者の潜伏生活で何が？ ・米朝首脳会談に“板門店”検討 ・安倍首相、米朝会談に期待感 ・天皇即位の際に使われる高御座（たかみくら）について ・【シリーズ憲法①】 総裁選の争点に“憲法改正” ・“徴用工像設置”めぐり衝突も ・TOKIO 山口メンバー起訴猶予処分 ・“パワハラ”で事情聴取 ・スポーツ ・23TODAY <ul style="list-style-type: none"> ジェットコースター宙づり 平尾容疑者潜伏先にテレビも 5月スタート、各地で真夏日 高波 24メートルの大波サーフィン世界記録 京大名物立て看板撤去 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米朝首脳会談に“板門店”検討→結論：問題なし <p>今回の報道は安倍首相米朝会談についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は146秒であった。</p> <p>史上初となる米朝首脳会談で、トランプ大統領は板門店で開催を打診しており、トランプ大統領は「米朝首脳会談の開催地はシンガポールを含めて検討中だ。南北軍事境界線にある板門店の「平和の家」と「自由の家」も検討している」と発言した。」理由としては、板門店で開催が良いと思うのは当事者がいるからだとした。</p> <p>板門店は先週南北首脳会談が行われた場所で、トランプ政権はこの会談での融和の演出を高く評価していて前向きな流れを引き継ぎたい思惑がある。</p> <p>その韓国側では今日午後、北朝鮮向けに宣伝を行っていた大型スピーカーの撤去作業が行われた。金正恩委員長を呼び捨てにしたり、体制批判 K-POPなどを流したりしていた宣伝放送をしたりした。南北の首脳会談で「敵対行為の全面中止」を盛り込んだ共同宣言を発表していて今回の撤去もこれをうけた措置の一つで、韓国の世論調査機関によると、北朝鮮の非核化・平和の意思を信頼すると答えた人は64.7%にのぼり、信頼していな</p>		

いの 28.3%を大きく上回っています。米朝首脳会談を前に南北の融和は加速しています。

このトピックについて、放送法上の問題は特に見られなかった。

・安倍首相米朝会談に期待感→結論：問題なし

今回の報道は安倍首相米朝会談についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 62 秒であった。

安倍首相は「来るべき米朝首脳会談において今後の道筋がより明確になっていくことを期待したいと思います。」とヨルダンでの記者会見で発言した。

北朝鮮の拉致、核・ミサイル問題の解決に向け米朝首脳会談での成果に期待感を示すとともに、日本としては日朝平壤宣言に基づいて不幸な過去を清算し、国交正常化を目指す方針に変わりないと強調した。また、安倍総理は今月 9 日に日中韓 3 か国の首脳会談を東京で開催することを明らかにしその際に文在寅大統領や李克強首相と北朝鮮問題について「腹を割って話したい」と語った。

このトピックについて、放送法上の問題は特に見られなかった。

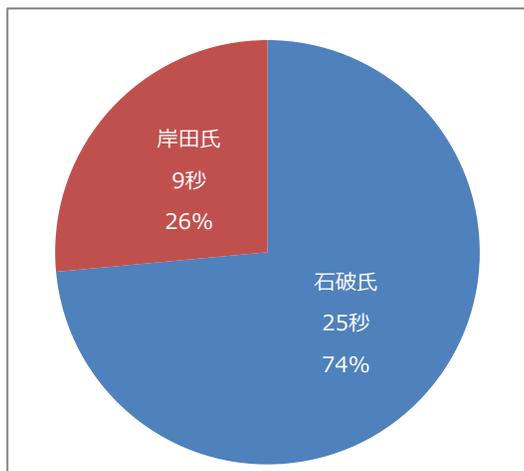
・総裁選の争点に“憲法改正”→結論：放送法第 4 条 2 項に抵触する疑いがある

今回の報道は総裁選の争点に“憲法改正”についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 270 秒であった。

ポスト安倍総理と言われる石破氏と岸田氏に関してのトピックである。総裁選の結果次第では、憲法論議に大きな影響がでると報じた。

以下、石破氏と岸田氏の発言を取り上げる。石破氏は「今の安倍さんの考え方とは（私の考えが）相当に違う。これは間違いだ。自衛官が気の毒だということで、自衛隊を（憲法に）書きます。おかしくないですか。理屈が通りますか。教科書でそんなことを紹介しちゃいけない—そのために（憲法に）書くんですというのは、国の独立と平和を守っていくことにどれほどの意味があることなんだろうかね。」という発言が取り上げられた。

岸田氏の発言は講演の中の「今の憲法においても私は自衛隊は合憲であると信じています。」だけであった。以下、石破氏と岸田氏の発言の時間の割合である。



結果を見ると、時間比率に大きな偏りがみられる。これは放送法第四条二項（政治的に公平であること）に違

反する可能性がある。

スタジオでは、星キャスターは「ここにきて自民党内に加えて3つの要因が壁になっていると思います。まず一つはですね。森友加計問題などで与野党が激しく対立してますんでね、国会が憲法を議論する環境にないということですよ。国会で発議するのが憲法ですからね。第二に与党の一角である公明党が憲法改正、とりわけ憲法9条の改正に慎重なので安倍総理に同調する動きが弱いと第三に国民の支持が広がりがないということですね。」との発言に対し、駒田キャスターは「最近の世論調査をすると憲法を改正すべきとする人が40%に対して、すべきでないが星さん47%でなんですよ。」と聞き、星キャスターは「そうですね、各紙の世論調査を見てもですね、今の政治が何に取り組むべきかということやはり経済とか社会保障とか圧倒的にたかくて、憲法は相当低い順位になるんですよ。そういう意味で憲法改正論議が足踏みしているというのは世論の反映であるといえると思いますね。」と答えた。

・“徴用工像設置”めぐり衝突も→結論：問題なし

今回の報道は“徴用工像設置”をめぐる衝突についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は85秒であった。

日本の植民地時代に動員された労働者を象徴する象徴の徴用工の像を韓国プサンの日本総領事館の前に設置しようとした労働団体など警官隊が強制排除した。日本政府は徴用工像設置の動きにかねてから強く反発し、韓国政府も日韓関係に配慮し、反対の意向を示していて、力づくでの排除に踏み切った。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

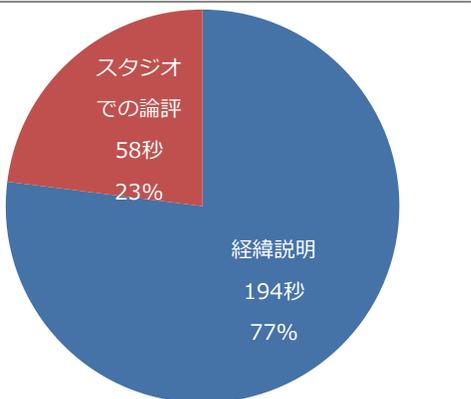
特に、問題は見当たらなかった

検証者所感

・徴用工像設置めぐり衝突も

諸説はあるが、日本の教科書や政府見解、当時の外交文書でも韓国を植民地にはしておらず、よほど極端な説をとらなければ、「植民地」とは表現しない。この件については日韓併合という呼称が正しい。なお、それは過酷な支配であったという面を強調し植民地支配ということはあるが、植民地時代とはいわない。韓国側からしても日本統治時代という表現が正しいだろう。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年5月2日									
出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙											
検証テーマ：加計学園問題、【シリーズ憲法②】公務員のあり方、米朝会談日程、森友学園問題、安倍首相がイスラエル首相と会談											
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ報道：清宮衝撃デビュー ・加計学園問題：柳瀬元秘書官 面会認める方向へ転換 ・TOKIO が会見 山口さん脱退の意思 ・3時間で4件の火事 連続放火の疑い ・新元号発表 生活への影響は？ ・【シリーズ憲法②】公務員のあり方は？ ・脱走受刑者の新証言 ・米朝会談日程：中国外相は平壤で協議 ・森友学園問題：迫田元国税庁長官が任意で事情聴取 ・はしかの感染拡大 ・スポーツ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> ・安倍首相がイスラエル首相と会談 ・京都・南禅寺で異臭騒ぎ ・警察官が男に刺される ・天気予報 											
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加計学園問題：結論→特に問題なし <p>加計学園の獣医学部新設をめぐり、これまで愛媛県職員との面会を頑なに否定してきた柳瀬氏ですが、一転面会を認める方向に変化したことについて報じられた。このトピックについて当てられた時間は252秒だった。経緯の説明とスタジオでの論評というポイントがあり、時間配分及び比率は以下の通りであった。</p>											
 <table border="1"> <caption>放送時間配分比率</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>時間 (秒)</th> <th>比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経緯説明</td> <td>194</td> <td>77%</td> </tr> <tr> <td>スタジオでの論評</td> <td>58</td> <td>23%</td> </tr> </tbody> </table>			項目	時間 (秒)	比率 (%)	経緯説明	194	77%	スタジオでの論評	58	23%
項目	時間 (秒)	比率 (%)									
経緯説明	194	77%									
スタジオでの論評	58	23%									

面会を認めるに至った理屈については「愛媛県や今治市、そして加計学園の関係者が官邸を訪れたのは2015年4月2日。そこで、当時の柳瀬秘書官と面会したとされています。」とナレーションで説明され、加えて与党幹部「柳瀬氏は愛媛県や今治市の関係者と会ったことはあるかとは質問されたが、加計学園関係者と会ったことはあるかとは質問されていない」や「陳情に来た時に後ろに役人がいてもその人たちのことは認識していないものだよ」という見解が紹介されていた。

スタジオではVTRをうけて以下に朱記したやり取りが行われた。

雨宮「今までの答弁は一体何だったのかと思ってしまいますが。証拠となる文書が次々出てきた中で、総理や周りももう守りきれないと判断したのでしょうか。」

星「そうですね。柳瀬さんはもう10ヶ月前から否定してきて、真相解明が大きく遅れてきた。その責任は大きいと思います。一歩前進ではあるんですけども、まだまだ疑惑は残っていますよね。」

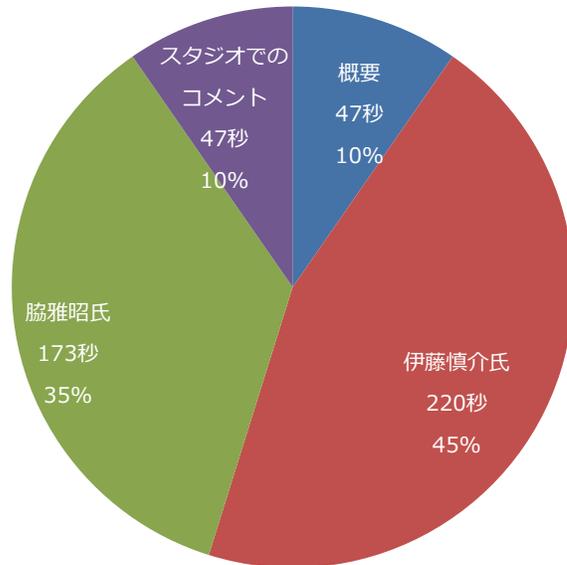
駒田「その中から主に3つです。愛媛県の文書にあったように柳瀬氏は首相案件と発言したのか。そして、なぜ一学校法人に過ぎない加計学園が総理秘書官と面会できたのか。そして柳瀬氏は加計理事長と安倍総理が親密な関係だと知っていたのかこれはどうでしょう。」

星「結局、加計ありきだったのかということが追求されると思いますし、焦点になってくるのは安倍総理が去年の1月までこの計画を知らなかったと言っているんですが、果たしてそれは本当だったのかということまでフォーカスしてくると思います。」

放送法第四条の見地からは特に問題は見られなかった。

・【シリーズ憲法②】公務員のあり方は？：結論→次回以降を注視

シリーズ憲法というコーナーで今回は官僚と憲法、特に公務員を全体の奉仕者と定めている憲法15条の関係が取り上げられていた。このトピックに当てられた時間は487秒で、概要、元経済産業省官僚で二人乗りの超小型自動車の開発を目的に「riMONO」を起業し代表取締役をやっている伊藤慎介氏へのインタビュー、現総務省官僚で8年前47都道府県の公務員が集まる「よんなな会」を設立した脇雅昭氏へのインタビューというポイントが取り上げられていた。それぞれのポイントへの時間配分及び比率は以下の通りである。



今回、取り上げられた官僚は経済産業省と総務省(旧自治省系)の2人だった。総務省は情報通信産業を省として所管しているが、キャリア官僚の採用自体は地方自治分野、行政管理分野、情報通信分野に分かれて採用が行われていて、地方自治分野や行政管理分野は特定の業を所管しているわけではなく、また、地方自治分野は自治体制度を通じて日本全体を考える風土のある省庁である。また、経済産業省はその任務が「経済産業省は、民間の経済活力の向上及び対外経済関係の円滑な発展を中心とする経済及び産業の発展並びに鉱物資源及びエネルギーの安定的かつ効率的な供給の確保を図ることを任務とする」と設置法で定められている。確かに資源エネルギーを所管し、自動車産業や繊維産業あるいはヘルスケア産業のような個別産業を所管する部署もあるが産業構造全体に横串を通す部署も持っていることや、特定の業の振興ではなく日本の国富拡大をミッションとしていることもあり、経済という切り口から日本全体を考える風土のある省庁である。この2つの省庁をとっても「全体の奉仕者」という理念とそれを職業生活の中でどう実現するかというアプローチは大きく異なっていて、やはり各省には各省の風土があるので、この2つの省庁に今回取り上げたような官僚がいたからと言って、霞ヶ関全体がそうだということとは言えない。

このシリーズで官僚と憲法の関係について再び取り上げる機会について次はいつあるのかはわからないが、放送法第四条一項四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」を踏まえると、次は他の省庁を取り上げるべきであろう。

・米朝会談日程：結論→特になし

トランプ大統領が米朝首脳会談の場所と日程が数日中に発表されるとしたことで、CNN テレビは文大統領が金党委員長に対してパンムンジョムで行うべきだと説得し、金党委員長が説得に応じたと報じていること、中国の王毅外相は今日から2日間の日程で平壤を初めて訪問し先週の南北首脳会談で同席したり・ヨンホ外相との会談で米朝首脳会談に向けて対応を協議したと見られていることが伝えられた。このトピックに当てられた時間は50秒で、放送法上の問題は特になかった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

・加計学園問題：結論→特になし

森友学園を巡る問題で国有地の売却交渉が行われた当時、財務省の理財局長を務めていた迫田英典元国税庁長官から大阪地検特捜部が任意で事情を聞いたことが関係者の取材でわかったこと、特捜部は国有地が大幅に値引きされて売却された経緯について詳しく話を聞いたものと見られていることが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 26 秒で、放送法上の問題は特になかった。

・安倍首相がイスラエル首相と会談

日本時間の今夜、安倍首相はイスラエルのネタニヤフ首相と会談し、外務・防衛分野の事務レベル協議を立ち上げサイバー分野に優れるイスラエルと緊密な連携を図っていくことで一致したことが報じられるとともに、中東和平をめぐることは当事者間の交渉とアメリカの関与が不可欠との考えを説明したとのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 22 秒で、放送法上の問題は特になかった。

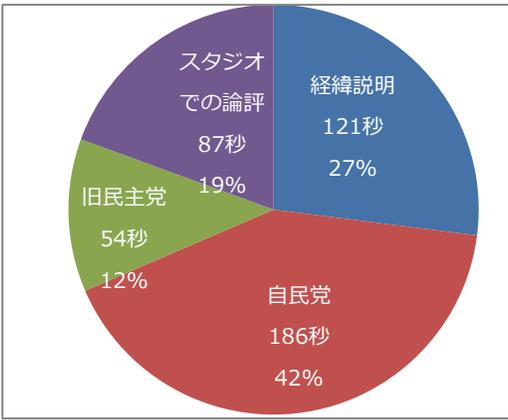
最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年5月3日															
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙																	
検証テーマ：【シリーズ憲法③】海上護衛艦いずも空母化と憲法9条、南北合同チーム 中国の王毅外相が金党委員長と会談、加計学園問題、アメリカ空軍輸送機墜落																	
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・GW 後半、荒天に注意 ・逃走受刑者、潜伏先の住民が証言 ・アルコール依存症と山口達也さん ・【シリーズ憲法③】海上護衛艦いずも空母化と憲法9条 ・卓球世界選手権で急遽南北合同チーム結成 ・中国の王毅外相が金党委員長と会談、北朝鮮の立場支持 ・加計学園問題：柳瀬氏と愛媛県関係者 ・スポーツ報道 ・23Today GW 後半は荒天に注意 逃走受刑者の潜伏中の様子 警官切りつけ男 DV で避難の息子連れ去る ジョージア州でアメリカ空軍輸送機が墜落 山梨市、車椅子の高齢女性、特急にはねられ死亡 ・天気予報																	
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・【シリーズ憲法③】海上護衛艦いずも空母化と憲法9条：問題あり 海上護衛艦いずもの空母化と憲法9条おもに専守防衛のとの関係に焦点が当てられていた。このコーナーでは経緯の説明、自民党および政権側の見解や動きの紹介、旧民主党系の見解や動きの紹介、スタジオでの論評にポイントが大別された。それぞれのポイントへの時間配分及び比率は以下の通りである。																	
 <table border="1"> <caption>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨の時間配分及び比率</caption> <thead> <tr> <th>ポイント</th> <th>比率</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自民党</td> <td>42%</td> <td>186秒</td> </tr> <tr> <td>経緯説明</td> <td>27%</td> <td>121秒</td> </tr> <tr> <td>スタジオでの論評</td> <td>19%</td> <td>87秒</td> </tr> <tr> <td>旧民主党</td> <td>12%</td> <td>54秒</td> </tr> </tbody> </table>			ポイント	比率	時間	自民党	42%	186秒	経緯説明	27%	121秒	スタジオでの論評	19%	87秒	旧民主党	12%	54秒
ポイント	比率	時間															
自民党	42%	186秒															
経緯説明	27%	121秒															
スタジオでの論評	19%	87秒															
旧民主党	12%	54秒															

経緯説明は護衛艦いずもの空母化や空母そのものについての説明、憲法改正をめぐる国会について取り上げられた。

自民党については安倍総裁が寄せたビデオメッセージについて「安倍首相」のものとして「いよいよ私たちが憲法改正に取り組む時が来ました。」という発言が取り上げられた他、空母化については政府関係者の「例えば尖閣諸島を取られたとき空母があれば戦闘機をより早く奪還に向かわせることができる。アメリカ軍の戦闘機も洋上の給油所としてそれを利用しない手はないだろう。」というコメントやいずも就役当時の「いわゆる空母的な運用ということについては考えていないまた想定したものではないということ。」という中谷防衛大臣（当時）のコメント、後述の北沢元防衛大臣に対する小野寺防衛大臣の「専守防衛を始めとする、これまでの防衛力整備に関する基本方針は些かも揺らぐことはないと思います。」という反論が取り上げられていた。

旧民主党については、憲法改正に対する枝野幸男立憲民主党代表の「自衛隊が従来とは全く違う、地球の裏側で戦争ができる自衛隊になるというのも明確なので、嘘をこれ以上を突きつけるのはいい加減にしてほしいと思ってます。」という街頭演説の様子が取り上げられた他、空母化についてはいずも建造の予算を決定したのは民主党政権だったと説明された上で、当時防衛大臣だった北澤俊美氏の「当時空母の議論が変わっていくなんていうことは全く夢想だにしなかった。専守防衛という概念から外れていくんじゃないかと。」という証言や「憲法9条なんてそんなに重要視しなくてもいいんだと、というような日本の国の専守防衛の概念というのがルーズになってきていると思うんですよ。今の政治の状況を見ればいかにも憲法は軽く扱われていると。」という現状に対するコメントが取り上げられていた。

スタジオではVTRを承けて以下に朱記したやり取りが繰り広げられていた。

雨宮「本当にこの空母の導入は今の憲法で認められることなんでしょうか。」

星「空母が専守防衛と原則を超えるものであることは確かですよね。領土領海領空を守るのに徹するというのが専守防衛なんですけどね。このところずっと米軍との連携ということで自衛隊の活動範囲がどんどん崩壊的に広がっていると、その一環だと思いますね。」

駒田「国の基本である憲法を変える前に色々なことが動き出している。そんな気がするんですが。」

星「かつて護憲派として知られる宮沢喜一さんとよく話す機会があったんですけども、今の憲法の肝は何ですかと聞いたところですね、その今の憲法の肝を一言いけば、海外で武力行使しないことですよと、断言してましたね。まあ安保法制によって限定的といってもアメリカ軍が攻められた時に日本への攻撃とみなして自衛隊が海外で武力行使できるということになったんですが、ある意味では宮沢さんも言ってる原則を踏み外すことなんです、穴が開いたわけですね。でも安倍総理はその自衛隊を今度は憲法に明記したいと言ってるわけですね。そうするとその海外で武力行使ができるようになった自衛隊を憲法で追認するということになっちゃうわけですね。ですから今ですね憲法の大原則が大きく揺らいでいることはいると思いますね。」

また、番組全体のクロージングで星キャスターが「今日宮沢喜一さんの言葉を紹介しましたが、彼のような国際派でかつ護憲派という政治家が少なくなりましたね。」とコメントをしていた。

時間の配分という点では、空母化について自民党が賛成・推進の見解を表明しており、旧民主党系およびスタジオでの論評が反対・懐疑的な見解を表明していたので、論点に対して時間配分の上での偏りは問題なかったと言える。しかし、安倍氏のビデオメッセージについてはこのイベントには安倍氏は「自民党総裁」としてビデオメッセージを寄せており、ビデオメッセージの中でも「自由民主党総裁の安倍晋三」と名乗っているが、今回の

報道では「安倍首相」として扱い、テロップでも「安倍首相 意欲示すも… 進まぬ憲法改正論議」というもじが画面右上におよそ 75 秒程度表示されていた。確かに、日本国は議院内閣制を採用しており、安倍晋三氏は自由民主党総裁であると同時に内閣総理大臣・首相でもあるから、こうした表記は完全に誤りではないものの、正確な表現とはいい難く、放送法第四条一項三号「報道は事実をまげないですること」という点では疑問の残るものであった。

・南北合同チーム：結論→特に問題なし

現在スウェーデンで行われている卓球の世界選手権女子準々決勝での韓国対北朝鮮の試合について、韓国と北朝鮮が試合をせず、急遽合同チームを結成して準決勝に進むことになったことが報じられたと同時に、国際卓球連盟の会長も歴史的な瞬間を支持したいというコメントが伝えられた。またこれに続いて速報で日本の準決勝進出が決まったこと、石川佳純選手のコメントが報じられた。このトピックについて当てられた時間は 143 秒で、放送法上は特に問題はなかった。

・中国の王毅外相が金党委員長と会談：結論→特に問題なし

王毅外相が金党委員長と会談したことについてスタジオで報じられ、以下に朱記したやり取りが繰り返され広がっていた。

駒田「北朝鮮を訪問していた中国の王毅外相は金正恩党委員長と会談し米朝首脳会談を念頭に、非核化の見返りに体制の補償を求める北朝鮮の立場を支持しました。一方、金党委員長は朝鮮半島の非核化を実現することは、北朝鮮の断固とした立場とした上で、中国との意思疎通を強化する考えを示したということです。」

雨宮「この南北融和ムードの中で中国と北朝鮮の交流も活発化しています。」

星「中国は表向きは中国の南北の融和とかアメリカと北朝鮮の接近を歓迎してるんですけども、本心から言うのですね、この一連の急激な動きにちょっと不安を持ってるんだと思うんですね。それというのもですね中国にとって北朝鮮っていうのは、その米軍がいる韓国との交換緩衝地帯という役割を果たしてるわけですよね。今度の南北の融和とか米朝の動きで緩衝地帯じゃなくなっちゃうんじゃないかと中国は心配してるんだと思うんですね。今回の王毅さんの訪問は、今度の習近平さんの訪朝の地ならしなんですけども、おそらく中国からこれからそうゆう警戒のメッセージが少しずつ発せられてくるようになると思いますね。」

このトピックについて当てられた時間は 80 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・加計学園問題：結論→特に問題なし

加計学園側と面会していたことを認める方向となっている柳瀬元総理秘書官が帰国し取材に応じたことが報じられた。また以下に朱記した記者とのやり取りの映像が流されていた。

記者「加計学園関係者との面会は認めるか。」

柳瀬「これまで申し上げました通り、国会に呼ばれたら誠実にしっかり答えたい国会の判断に従います。」

記者「認めるか認めないかだけここでしっかり説明してください。」

記者「記憶戻ったんじゃないですか。」

このトピックについて当てられた時間は 26 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・アメリカ空軍輸送機墜落：結論→特に問題なし

アメリカ南部ジョージア州で2日アメリカ空軍の輸送機 C 130 が墜落し、乗っていた9人全員が死亡したこと、輸送機はプエルトリコの空軍部隊所属で訓練でアリゾナ州に向かう途中だったということが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は27秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・【シリーズ憲法③】海上護衛艦いずも空母化と憲法9条：問題あり

放送法上からの検証でも指摘したが、安倍氏が「自由民主党総裁」として寄せたビデオメッセージが「安倍首相」のものとして取り上げられていた。憲法改正論議において安倍氏が「自由民主党総裁」としての立場で発言していることを明確にしているにもかかわらず、それを「総理大臣」の発言として取り上げることは、事実を正確に伝えていないばかりか、「自由民主党総裁としての発言」と「内閣総理大臣としての発言」とでは意味合いが異なってくることから、視聴者に対して異なった意味合いの発言という誤解を与えてしまうおそれの高いものであり、印象操作に該当すると言えるだろう。

検証者所感

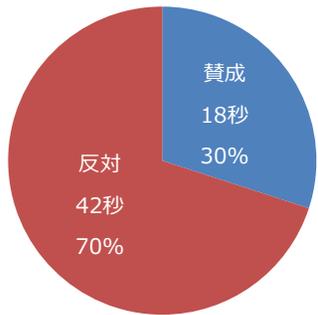
・【シリーズ憲法③】海上護衛艦いずも空母化と憲法9条：問題あり

星キャスターが宮沢喜一元総理の「今の憲法の肝を一言いえば、海外で武力行使しないこと」という言葉を紹介していたが、1953年の選挙での参議院議員当選に政治家としてのキャリアをはじめた宮沢喜一のどの時点での言葉だったのかは明らかにしていなかった。

実際の宮沢喜一は護憲派として知られる一方で、その政権下での実績としては「PKO 協力法」の成立とそれに伴うカンボジアへの自衛隊派遣が挙げられる。また、宮沢喜一氏は1996年には集団的自衛権の限定行使は合憲であるという見解を示していたのみならず、違憲論を「学者ばか」の議論とも批判していた。また、2001年に行われたサンフランシスコ講和会議50周年の式典では、会議出席者唯一の生存者としてスピーチを行い、「個別的自衛権の論理的延長として、集団的自衛権を位置づけることを提案する」と述べ、部分的な集団的自衛権の行使を容認すべきだと主張していたことも見逃せない。

このように、実際の宮沢喜一の政策や議論は、現在語られているような「護憲派」とは程遠く、明文の憲法典を改正することには反対だが、その解釈を改めることで実質的な改憲を行うということには反対ではなかったことは明白である。今回の取り上げ方についてはそれ自体が直ちに放送法第四条一項二号の示す「政治的に公平であること」や同三号の「報道は事実をまげないですること」あるいは印象操作という点で問題があるとは言えないものの、取り上げ方が些か恣意的で、事実を軽視したものであったことは否めないだろう。

NEWS23 週刊報告 詳細版

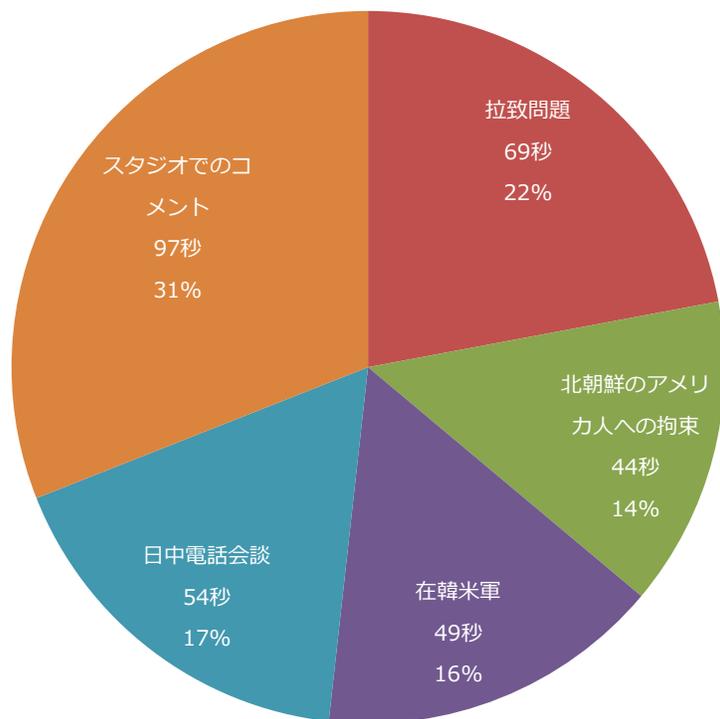
テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年5月4日									
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙											
検証テーマ：卓球で南北合同チーム、米朝首脳会談に向けて、田中角栄氏生誕100年											
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GW 真っただ中、天気急変 ・イチロー選手、今シーズンは試合に出場せず会長付特別補佐に就任 ・卓球で南北合同チーム ・米朝首脳会談にむけて ・【現場から、】シェアハウストラブル、「かぼちやの馬車」に新たな疑惑 ・島根県、未成年者誘拐事件、9ヶ月たち72歳男性を逮捕 ・ノーベル文学賞、発表見送りとスキャンダル続きで混乱 ・「潜伏キリシタン遺産」世界遺産登録へ ・大韓航空社員がデモ、警察が「水かけ姫」逮捕状請求するも検察は断念 ・スポーツ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> 天気急変 イチロー選手 北朝鮮に拘束の米国人3人「早ければ5日に解放」 田中角栄氏生誕100年 ・天気予報 											
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卓球で南北合同チーム：結論→やや不十分 <p>卓球の世界選手権で韓国と北朝鮮が急遽合同チームを結成したことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は206秒で、これに対して肯定的なコメントを紹介したシーンを賛成、否定的な見解を紹介したシーンを反対として集計したところ賛否の時間配分及び比率は以下の通りになった。</p>											
 <table border="1"> <caption>賛否の時間配分及び比率</caption> <thead> <tr> <th>意見</th> <th>時間 (秒)</th> <th>比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賛成</td> <td>18</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>反対</td> <td>42</td> <td>70%</td> </tr> </tbody> </table>			意見	時間 (秒)	比率 (%)	賛成	18	30%	反対	42	70%
意見	時間 (秒)	比率 (%)									
賛成	18	30%									
反対	42	70%									
<p>賛成の意見では韓国料理店での好意的なコメントが取り上げられていた。他方で反対の意見では早稲田大学で</p>											

スポーツ倫理を専門とする友添秀則の「途中から特定の参加者だけが有利になるようなルールで行われていく大会というのは基本的にはこれはもうスポーツと呼ぶには値しないのではないか」、「これは平和の問題ではなく、政治がスポーツに介入してきた問題だというふうに捉えるべきだと思いますね。」というコメントが紹介された。

賛否の比率自体はやや反対に偏っているものの、それ自体が直ちに放送法第四条に抵触するほどの程度であるとは言えないものだった。しかし、反対の意見がスポーツ倫理、フェアかどうかという点から出ているのに対し、これに対する十分な合同チーム擁護論や合同チームを認めるに至った大会運営側の見解が紹介されていなかった、という点において放送法第四条一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に照らすと些か不十分なものがあつたと言える。

・米朝首脳会談に向けて

米朝首脳会談を前に駆け引きが激しくなっていて北朝鮮に拘束されているアメリカ人三人が解放される可能性が浮上する中でトランプ大統領が在韓米軍の縮小を指示とニューヨーク・タイムズ紙の電子版に報道されたが韓国はすぐに否定したこと、一方で安倍総理は中国の習近平国家主席と史上初の電話会談に臨んだことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は313秒だった。このトピックについては拉致問題、北朝鮮によるアメリカ人への拘束、在韓米軍、日中電話会談、スタジオでのコメントというポイントがあり、それぞれのポイントへの時間配分及び比率は以下の通りである。



放送法上は特に問題は見られなかった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

・田中角栄氏生誕 100 年

列島改造論を進め、中国との国交正常化にも尽力した田中角栄元総理が 4 日、生誕百年を迎えました、故郷の新潟県柏崎市で式典が開かれ長女の真紀子さんらが出席しました。このトピックについて当てられた時間は 28 秒だった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・米朝首脳会談に向けて

ニューヨーク・タイムズ紙が 3 日付の電子版で「トランプ大統領が国防総省に在韓米軍の縮小を検討するよう指示」として「複数の政府関係者の話としてトランプ大統領が金党委員長との会談を前にアメリカ軍の規模を縮小するための選択肢を用意するよう指示した」と報じていたのに対し、韓国の大統領府はホワイトハウスに確認したところ「全く事実ではない」との回答があったと明らかにしていることが報じられた。もしこの報道のようにニューヨーク・タイムズ紙の電子版でこうした誤報があったとすれば、これはトピックの内容が東アジア情勢・国際情勢においても非常に大きい意味を持ち、重大なフェイクニュース、不祥事であると思うが、その割にはニューヨーク・タイムズ紙の誤報問題については扱いがそれほど重くなかったことがやや気になった。

・田中角栄氏生誕 100 年

田中真紀子・直紀夫妻をテレビで見たのは随分久しぶりだと感じました。